

百人一首

天智天皇

秋の田の かりほの庵の

苔をあらみ

わが衣手は 露にぬれつつ

MEMO

「百人一首」 天智天皇

【現代語訳】

秋の田の傍にある仮小屋の屋根を葺いた  
苔の目が粗いので、私の衣の袖は露に濡  
れてゆくばかりだ。